

送電線

かしこく・なかよく・元気よく



FFA & T 大作戦

『子供も教職員も 未来に目を向け、考え、チャレンジ』

令和3年度 1月7日 20号



3学期がスタート!



明けましておめでとうございます。

2022年(令和4年)、寅年がスタートしました。「虎に翼」「虎穴に入らずんば虎子を得ず」ということわざがあるように、寅年は「勇猛果敢」「逆境に負けない」「チャレンジ精神が旺盛」というイメージでしょうか。このイメージに負けず、まだまだ続くコロナ禍においても子供たちが大きく成長できる上陽小になるよう、いろいろなことに挑戦していきたいと思えます。今年もよろしくお願いします。

3学期始業式の話

始業式で子供たちに、次のようなお話をしました。

今日から3学期が始まります。3学期は1年の仕上げの学期ですが、それと同時に次の学年の準備をする時期でもあるので、0学期ともいいます。では3学期にどんな準備をすればいいのでしょうか?みなさんに準備してほしいこととお話します。

・1年生の皆さんは、4月になると2年生となり、かわいい新1年生が入学してきますね。先生や友達に手伝ってもらっていることはないですか?自分でできることを少しでも増やせるように頑張りましょう。

・2年生、3年生、4年生、学年が上がると勉強が難しくなるのはもちろんですが、係や委員会、縦割り活動など、学校や学級の中での役割が少しずつ変わってきます。自分のことだけでなく、みんなのことを考えて行動する、自分が責任をもって行動する場面が増えます。「考えて」「責任をもって」行動する意識を少しずつ高めてください。特に4年生は委員会などで、学校の仕事にも取り組むこととなりますね。

・5年生は、4月から最上級生として全校の先頭に立ち、率先していろいろなことに取り組まなければなりません。学校の顔となります。上陽小を背負っていろいろなことに頑張れるよう、この3ヵ月間修行をしてください。

・6年生、春になれば上陽小学校を巣立って、中学校へ大きく羽ばたく卒業、進学を迎えます。中学校生活では、自分の苦手なことや嫌いなことにも取り組まなければならないことも多くあると思います。しかし何事にも負けず、自分で考え、いろいろなことへ(苦手なことでも)積極的に取り組めば取り組むほど、充実した日々になります。上陽小生活ラスト2ヶ月半で、勉強だけでなく、心、体をさらに鍛え、旅立ってほしいと思います。

全校の皆さん、健康には十分気をつけて、4月を向かえる準備を頑張りましょう。3学期、みなさんが大きく大きく成長することを期待しています。

3学期は登校日数も短く、寒い日が続きますが、春に向かって心も体も一回り大きく成長してほしいと思います。

特に6年生は、6年間通った上陽小での生活もあと2ヶ月半となりました。いい思い出がたくさん残る上陽小生活を過ごしてほしいです。卒業式は3月24日(木)です。大きな目標をもって、新たな世界に一步を踏み出す日ですね。

☆ 引き続きのお願いです ☆

再び新型コロナウイルス感染症が流行の兆しを見せています。3学期も感染症対策にご協力をお願いします。

- ①毎朝の検温と健康観察シートの記入（風邪薬等を服用したときは記入をお願いします）
- ②マスクの正しい着用（登下校時、休み時間の外遊びは外してもよい。体育等運動時は外します）
- ③ハンカチ（タオル）、ティッシュ、水筒、予備のマスク2枚は必ず持参ください。
- ④登校後、発熱や風邪症状等が見られる場合にはお迎えをお願いします。
- ⑤本人および同居家族がPCR検査等を受けることになった場合は、必ず学校に連絡をお願いします。
- ⑥新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見にご留意ください。

学校でもご家庭でも手洗いを徹底して行うことで、手荒れがひどくなっているお子さんが見られます。ハンドクリーム等で対策をお願いします。



子供議会に参加

（12月24日）

6年生の2人が代表して、子供議会に参加しました。

子供議会は各学校2名が参加し、玉村町がさらによくなるにはどうしたらいいのか子供の目線で質問、提案するものです。上陽小ではPCを使って6年生全員で意見交換をして提案する内容を作りました。

上陽小からは、「玉村町の自然を活用した魅力発信について」「授業でタブレットをさらに活用するために大型モニターを設置してほしい」「玉村町の花火大会の開催について」「ジェンダーの平等を実現するための取組について」の4つについて発言しました。どの発言内容もとても素晴らしいものでした。

特に「玉村町の自然を活用した魅力発信について」は、水上へ修学旅行に行った体験と結びつけて、発言していました。「ジェンダーの平等を実現するための取組」では、LGBTQ について考え、偏見や差別がない町にしたいという強い気持ちが感じられました。さすが上陽小の子供たちです。



右の文章は文部科学省からのメッセージです。御一読をお願いします。

長期休み明けは、生活リズムが整わなかったり、宿題が終わっていないなかったり、また寒さが一段と厳しくなることもあり、登校するのを不安に感じたり、悩みを抱えたりすることがあります。

右のメッセージにもありますが、いつもと違う子供たちの変化を感じましたら、ゆっくりお話を聞いてあげて下さい。学校もご家庭と協力して対応していきますので、変化を感じたときは連絡をお願いします。

保護者や学校関係者等のみなさまへ

冬休み明けには、児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子供たちが増えることが考えられます。

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・ 成績が急に落ちる
- ・ 注意が集中できなくなる
- ・ 身だしなみを気にしなくなる
- ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える

保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けていただくとともに、学校、家庭、地域、関係機関等で緊密な連携体制を築いていただきますようお願いいたします。